



紡ぐ tsumugu

練馬区立石神井西中学校
学校だより 第3号
令和3年6月1日
校長 荒井 友香

Brave

本日6月1日は本校の運動会。緊急事態宣言の再延長となり、保護者や地域の皆様に参観いただくことはできませんでしたが、生徒たちはそれぞれの活躍を見せてくれました。

運動会を中止すべきか検討していた頃、運動会実行委員長と生徒会長の生徒3名が校長室を訪れ、開催すべきだという熱い思いを語りました。その中で、男子の実行委員長が述べた「運動会を通じて、石西中の伝統が上級生から下級生につながる」という言葉が印象に残っています。

運動が得意な人も、そうでない人も、今の自分のベストを発揮しました。様々な理由で運動会に参加できなかった生徒もいます。各ご家庭で、お子様から運動会にどう向き合ったかを聞いていただき、それぞれが努力した過程をほめていただければと思います。

今月の標題の Brave は、本校1学年のマス・ゲームで使用している曲のタイトルです。基本的な動きは2・3年生も経験しているためか、1年生の様子を見ながら自然に体を動かしている上級生もたくさんいました。

Brave は東日本大震災直後の2011年4月に発売されたナオト・インティライミさんの楽曲で、発売元は「大きなダメージを受けた今の日本のみんなの心にポジティブなパワーをくれるといい」とのコメントを出しています。

僕らならできるって 思いながら闘って
新しい未来をイメージすればいい
あの虹を渡って まだ見ぬその先へ
自分を信じて 始まったばかりさ
無理して我慢して生きてても
明日はやってくるけど笑えない
誰かと比べる必要なんてない
キミはキミのままでいいんだよ

(Brave 歌詞一部抜粋)

困難な状況が続く今年度も石西中の伝統の一つを引き継ぐことができました。これも、日頃から換気・手洗い等に努力してくれた生徒とご家庭の支えあってのことです。ありがとうございました。

6月は環境月間です。

運動会の予行も当日も、年々気温が上がっていることを実感するような暑さでした。

「環境」と一口に言いますが、生活環境、自然環境、教育環境、子育て環境、健康環境、都市環境、文化環境と、様々です。

何か一つを重視すれば、バランスが崩れて他方が一層深刻な事態を迎えます。今は、便利な生活環境を求めてきた結果、自然環境に悪影響が出ている状況と言えるでしょう。しかしこの暑さは、教育環境にとっても逆風です。

「換気のために窓を開けたい」「暑いです」

「外で体を動かしたい」「暑くて無理です」

「〇〇さんは欠席?」「暑さで体調不良です」

今年度から総合的な学習の時間はSDGsの視点をもって取組を進めています。そのために、本学校だよりでもSDGsの記事を掲載させていただいています。17の目標の中でも、自然環境に関わる課題意識をもつ生徒は多くいます。

Brave は、危険や困難に出会っても恐れない勇敢さという意味をもつ言葉です。

新型コロナウイルス感染症への対応も、環境破壊の防止も困難ではありますが、石西生は石西生らしく進むしかありません。誰かと比べることなく、未来を信じて進んでほしいという願いは、保護者の皆さんも教職員も同じです。

6月の生活目標

定期考査に向けて、計画的に学習しよう

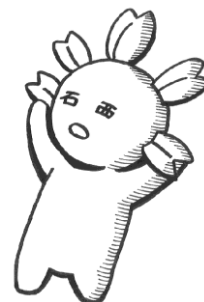
運動会というビックイベントが終わり、気持ちの切り替えが必要な時期です。新学年になって初めての定期考査に向けて、落ち着いて授業を受けられるよう心がけましょう。また、家庭での学習も計画的に進め、一人一人が自分と向き合いながら学習を進められるといいですね。

【今月の主な生徒の活動・行事】

- ・運動会
- ・中央委員会・各種委員会
- ・進路説明会（3年）
- ・期末考査

お知らせ

- 緊急事態宣言の再延長のために、運動会の参観を中止させていただきました。運動会の様子については、動画で視聴できるよう準備中です。しばらくお待ちください。
- 運動会の様子は、学校ホームページ上でも一部紹介させていただきます。
- 6月12日（土）に予定しておりました土曜公開授業については、公開を中止します。



【SDGs特集②】～オリンピック・パラリンピック～

教務主任 野崎秀太

SDGsは国や企業だけが意識すべき目標ではなく、私たち一人ひとりにも関わってくる課題です。17もの持続可能な目標が掲げられていますが、どの目標も日頃の生活に密接な関係があるものです。この特集では、17の目標について、身近なものに関連付けて解説をしていこうと思います。

7月に実施される「東京オリンピック・パラリンピック」は、このSDGsに貢献する運営、取り組みをしています。オリンピック・パラリンピックと言えば、「メダル」です。この「メダル」の材料ですが、今回はパソコン・スマホなどのIT機器や電気製品などの不要になったものを全国から集めて、その部品の一部を再利用して製作されたものになります。



また、会場をなるべく既存の会場を使用し、新たな会場建設を抑えてCO2排出を抑えたり、競技会場や選手村などにおいて再生可能なエネルギーを使用したり、選手や大会関係者の輸送などに燃料電池自動車や電気自動車などを導入したりして、できるだけCO2等の温室効果ガスの排出が減るよう削減努力をしようとしています。



7月に開催する大きなプロジェクトであるオリンピック・パラリンピックも、様々なことがSDGsに関わっています。スポーツという視点だけでなく、SDGsのことも意識しながら観戦するのはどうでしょうか。

【生徒の活躍の記録】

バドミントン部

- ①第59回練馬区総合体育大会バドミントンの部
 - 【男子団体】 3位
 - 【男子シングルス】 2位 木下渚
 - 【男子ダブルス】 2位 今田玲温・中村智紀
- ②練馬区中学校バドミントン1年生大会
 - 【男子ダブルス】 3位 大友珀・青木佳汰
 - 【女子ダブルス】 2位 大谷ミミ・北森果歩

